



2016-2017年度  
東日本区 理事通信  
第20巻03号  
2016年9月3日発行



## 「理事メッセージ」

7月1日のキックオフからはや2か月がたちましたが、みなさまにはお元気でワイズ活動にご専心のこととお喜び申し上げます。

8月は暑い中、第72回国際大会・ユースコンボケーションが台北で行われ、その感動の余韻が収まらぬままに部会シーズンがスタートいたしました。8月27日にはすでに北海道部会が盛大に開催されております。部会は年に1度部内各クラ

ブが一堂に会し、学びあったり、親睦を深めたりする貴重な機会です。今年は特に部の活性化を目指して、部会の充実を各部長にお願いいたしましたところ、各部でそれぞれ工夫を凝らした企画をたてています。ご自分の部はもちろん、他の部にも足を運んで、学びあい、親交を深めてください。部会で、みなさまとお会いできるのを楽しみにしております。

理事 利根川 恵子

## 昨年度決算に関する臨時代議員会投票

過年度の決算について、過日、メールによる代議員会を行い、代議員77名（内一名が重複により、実質76名の投票権利者）のうち59名の

方から投票があり、一票は無効、58票（76%）の賛成を得て、承認されましたので、お知らせします。  
渡辺隆直前理事並びにキャビネットの皆さん、本当にご苦労さまでした。

## 国際大会報告



8月4日（木）～7日（日）、台湾、台北市で開催された国際大会は、参加総数800名で盛大に開催されました。国別では、日本からの参加者が186名で、台湾に次ぎ2番目に多い参加でした。うち、東日本区からは88名の参加がありました。

世界全体では、残念ながらメンバーが減少しているものの、韓国では10,000名に達しようとしていることや、ジュネーブの本部に勤務する西村隆夫国際書記長が、オフィスをタイのチェンマイに移すなど、状況に合わせた対応がなされています。

東日本区に関連する表彰は下記のとおりでした。

ーBF代表(パーシャル) 吉田公代(川越)

ー台南地震支援金感謝

東日本区、所沢クラブ、甲府クラブ、東京八王子クラブ、長野クラブ、東京サンライズクラブ

ーエルマー・クロー賞

直前北東部部長 中川典行(仙台)

ー国境を超えたエクステンション賞

東京武蔵野多摩クラブ・香港チャムシャツイクラブが、モンゴル・ウランバートルクラブ設立のスポンサークラブとなったことで受賞

ーチャンピオン賞(特別賞)

青木一芳(千葉) 国際大会参加20回で受賞

ーブースター賞

工藤大丈(東京ベイサイド)・榎本博(伊東)

なお、次回の国際大会は、2018年8月に韓国・麗水で開催される予定です。

---

## アジア太平洋地域議会報告

台北での国際大会に併せて、8月5日(金)午後3:30~5:30まで、国際大会の会場10Fで開催されましたので、概要を報告いたします。

- 1) 前期の表彰で、東日本区は、東日本大震災や熊本地震などの災害支援、東山荘100周年募金への協力で代表されるYMCAサービスなどで、アジア会長賞を受賞しました。
- 2) 従来、私達の東日本区は国際的には“アジア地域”に所属していましたが、“南太平洋地域”と2016年8月4日に合併し、“アジア太平洋地域”となって初めての会議でした。
- 3) 地域会長 タン・ミンシャオさん(台湾)  
地域会計 ジェームス・コンさん(香港)  
地域書記 デビッド・ルアさん(シンガポール)  
の3役が就任しました。また、事業主任、その他の役員が地域会長から任命されました。
- 4) 年会費が値上げとなりました。  
今期は、前期2ドル・後期3ドル、計5ドル

ですが、次年度から、前期・後期とも3ドルで、計6ドルになります。

- 5) 「アジア太平洋地域憲法およびガイドライン」が賛成多数で承認されました。その内容は、後刻、英・日両語で各クラブ会長にお送りすると共に、東日本区のホームページにも掲載する予定です。
- 6) 日本からのこの会議に出席した役員は、下記のとおりです。  
利根川 恵子 東日本区理事・アジア太平洋地域ブリテンエディター  
岩本 悟 西日本区理事  
村野 繁 アジア太平洋地域フィラテリスト  
田中 博之 アジア太平洋地域IBC事業主任  
宮内 友弥 アジア太平洋地域エクステンション事業主任

なお、アジア太平洋地域大会は2017年7月21日~23日、タイ、チェンマイで開催されます。

---

## アジア太平洋地域選出国際議員(アジア太平洋地域会長)候補者推薦のお願い

8月14日に、東日本区書記(山本剛史郎)のメールで各クラブ会長にお願いしていますが、9月22日がアジア太平洋地域会長必着の締め切りですので、再確認のお願いです。

東日本区からは、高田一彦ワイズ（横浜クラブ）が当時のアジア地域選出国際議員（2009-2012年度。内、2010-2011年度にアジア地域会長）を務めて以来、ここしばらく、国際議員（地域会長）が出ておらず、今般、東日本区から候補者を出すことは権利であり義務であると考えます。どうか部、クラブの枠を超えて、ふさわしい方を積極的にご推薦ください。

なお、2013年の国際議会での決定によって、国際議員の候補者は、候補者推薦締切日の時点で75歳以下であることとなりましたので、推薦にあたってはご留意ください。

推薦書の用紙・送付先など、詳細につきましては上記、8月14日の山本書記のメールの添付を使ってください。また、推薦を行ったクラブは東日本区事務所に一報ください。

## 新しい仲間

下記の方々が8月に新しく入会されましたので紹介します。心から歓迎します。

安藤 慎次さん 東京多摩みなみクラブ  
 石川 良一さん 東京多摩みなみクラブ  
 石田 孝次さん 東京多摩みなみクラブ  
 小早川 浩彦さん 東京多摩みなみクラブ

真藤 広子さん 東京多摩みなみクラブ  
 滝口 恵子さん 東京多摩みなみクラブ  
 中村 慶嗣さん 東京多摩みなみクラブ  
 深尾 香子さん 東京多摩みなみクラブ  
 藤田 智さん 東京多摩みなみクラブ  
 本田 栄一さん 東京多摩みなみクラブ  
 綿引 康司さん 東京多摩みなみクラブ  
 有田 征彦さん 横浜戸塚クラブ

## ユース事業報告

ユース事業主任 大久保 知宏



9月はユースの強調月間です。8月1日～7日の間、台湾で開催されたインターナショナル・ユース・コンペディションには東日本区から小林君を団長に6名のユースが参

加いたしました。11月26日に報告会を開催いたしますので、ユースが何を不得、どのように活動していくのかをお聞きいただければと思います。

9月2日から3週間、STEP 留学生としてデンマークの男子高校生エスベン君を受入れます。東京むかで、宇都宮、川越、長野の各クラブのご協力に加えて、山中湖センターのご協力で、彼にとって実り多き日本滞在になることを祈っています。9月13日の宇都宮クラブの例会と9月17日の北東部会に参加する予定になっています。昨年、今年とSTEPでの留学生受入れが続いています。ユースにとっての海外経験は大きな育成の機会です。STEP 留学生として送りたいと考えるユースがいたら、東日本区までご相談ください。

9月9日～11日の間、ユース・ボランティア・リーダー・フォーラムが、東京YMCA山中湖センターで開催されます。1987年から続く、リーダー経験が1～2年のリーダーを対象としたリーダートレーニングキャンプです。各地のYMCAからリーダーが集まり、問題を共有しながら、リーダーとして求められるものを理解する機会となっています。今年は基調講演をしていただく青山鉄兵氏によるワイズメンを対象としたキャンプ入門もありますので、ユース

との共通の時間を持っていただければと考えています。宿泊での参加をお待ちしています。

今年度のユース事業では、部の活性化を目指す理事方針を受けて、活性化の一つの手法として、部が主催するユース育成事業を支援することといたしました。2016年10月末までに東日本区のホームページに掲載されている事業企画書にてご提出ください。

---

## 「喜びや感謝を形に」——東日本区 ワイズ基金へのご協力のお願い

東日本区ワイズ基金運営委員会

「東日本区ワイズ基金」(JEF)は、区が資産の一部として保有し、ワイズダムの安定的かつ継続的な組織と事業の発展に資することを目的として設置されています。基金への寄付は、ワイズに関わる組織や人々が感謝の心を表す機会として位置づけられ、これまで多くの方々から喜びや感謝の心で献金をしていただきました。そのお名前と理由は「奉仕帳」に記され、永久保存となっています。

2015-2016年度におきましては、10件で260,360円の献金がありました。

今年度は東日本区設立20周年であり、東西日本区交流会や20周年記念誌の発行など記念行事も予定されています。これらの行事の実施にあたり、ワイズ基金の活用も考えられますので、今年度の目標を50万円といたしました。ぜひ会員の方々のワイズ基金へのご協力をお願いいたします。「喜びや感謝を形に」——どうぞよろしくお願いたします。

---

## 国際・交流事業報告

国際・交流事業主任 太田勝人(東京世田谷)



(1) 「ワイズメンズクラブ国際協会第72回国際大会」にて、東京クラブー京都キャピタルクラブー台北アルファクラブの“トライアングルIBC”が田中博之アジア・太平洋地域事業主任の立会いの下、厳かに締結され、全員から大きな拍手を頂いてスタートいたしました。

今後益々の交流とご発展を皆様と共に祝福いたします。東京クラブの比奈地会長はじめ皆様、おめでとうございます！(写真参照)

(2) 同国際大会の期間中、西日本区森田国際・交流事業主任と協働して「外国のクラブから日本のクラブに対してIBC締結を希望するクラブ」を記入してもらいました。

以下お知らせいたしますので、各クラブの会長を中心に打ち合わせていただき、ご検討願えれば幸いです。各部の事業主査と共に私も事業主任としてご相談があれば、お役に立ちたいと存じますので、お知らせ下さい。

なお、下記 No. 2, 4, 6 については、相手の連絡先が不明ですので、ワイズメンズクラブ国際協会・該当地域会長に問い合わせますので、太田まで連絡下さい。

1. ルーマニア国 Bistria Club (欧州、デンマーク地域に所属) 会長: Cristina Maria.  
E-mail: crissa\_mr@yahoo.com.au

(日本のクラブと IBC で繋がりたい とのメッセージです。)

2. 韓国 Korean Club : 「日本のクラブで 30-40 代会員のいるクラブと IBC で繋がりたい。」

3. 韓国 Ansan Ever Green Club : 「日本のクラブと繋がりたい。」

(Mr. Chang-Rock Oh

E-mail: ohcrdr49@gmail.com 又は  
ohcrdr@naver.com

4. タイ国 Lanna Chiang Mai Club : 「日本も含め、どのクラブであれ私共新クラブと (9月にチャーターナイト) 繋がり、手助けして頂けるクラブと IBC を希望」

5. ハワイ Kaimuki Club と東京世田谷クラブは現在 IBC 締結中—台湾高雄クラブとトライアングルを結びませんか、と Mr. Ray Seto から提案があり、太田が高雄クラブの Mr. Oliver Wu 会長と名刺交換しました。役員会に諮って返事をいたします。

6. 韓国 Tong-Hae Club : 「日本のクラブと繋がりたい」

7. (沼津クラブ・長谷川 等ワイズから帰路空港で得た情報)

台湾・台中クラブと沖縄クラブが IBC 話し合い中です。手続きも含め、相談に乗ってください、と長谷川ワイズからお話を頂きました。フォローします。

なお、台湾高雄ポートクラブの Mr. Tom Chang から「日本のクラブと繋がりたい」との希望がありましたが、東日本区ではすでに、東京八王子クラブと IBC 締結していますので、本件は西日本区で検討してもらいます。

---

## 会員増強 (EMC) 事業報告

会員増強事業主任 菊地弘生

8月20日(土)午後、YMCA 同盟の会議室で開催された委員会の要点をお知らせします。

1. 新たなヤングメンバー補助制度として、2016 年度から大会の登録費の半額補助を新設したが、ドロップアウトを防止する観点で言うならヤングメンバーより、新入会員を対象に大会参加を促すための補助制度に

してはいかがかという意見が出された。今後、継続して検討することになった。

2. インビテーション・キャンペーンは、成果の検証を今回の出席委員で行うことは出来なかった。しかし、定着しているクラブもあり、当面継続していくこととなった。期間は12月から3月までの4ヶ月間とする。キャンペーンのチラシは、9月中に届くように、事業主任が作成することになった。

3. その他として、東日本区のインビテーション・キャンペーンを2017年2月に東山荘で開催される東西日本区交流会でもPRし

て、EMC事業の一環に繋げていきたい。富士山でよい夢を見ましょう。

---

## LT委員会活動報告(7・8月)

LT委員長 伊藤幾夫(東京多摩みなみクラブ)

今期が始まって2ヶ月が過ぎました。LT委員会では、第1回目を7月8日(金)に、第2回目を8月26日(金)に開催しました。検討項目は2回共、次期部長・事業主任研修会のプログラム検討がメインテーマのひとつです。

今期の研修会は10月29日(土)10時半より日本YMCA同盟(東京・四谷)で開催されますが、今回は特別発題として、「東日本区定款改訂案」について、改訂委員長の辻剛さん(横浜つづき)に改訂の主旨、改訂点についてプレゼンをお願いしています。ワイズが東西2区に分かれて20年になりますが、今回が初めての大幅改訂になります。2014年11月から現在に至るまでに11回のワーキングチー

ムでの検討がなされました。今回の次期研修会では、改訂についての理解を深めていただくために、次期部長・事業主任のみならず、現部長・事業主任にも参加を要請させていただきます。

もうひとつのテーマは「eラーニング」についての検討です。LT委員会の中に、eラーニング検討チームを立ち上げ、LT委員以外からも亀井大輔さん(東京)に加わっていただきました。従来の1箇所集合型の研修会を補完する意味からも、各個人がPCまたはスマホで研修できるシステム作りを進めています。ワイズメンにとって、また、新入会員を迎えるにあたって、「ワイズ理解」を深めるよりよい教材になるよう模索したいと思っています。そのことが、まさにリーダーシップ・トレーニングにつながると考えます。

---

## 熊本地震支援

YMCA同盟と東日本区事務所の最新集計によると、  
同盟扱い：12口 2,787,747円  
(区からの100万円を含む)

東日本区扱い：32口 1,073,555円

でした。ご協力に感謝します。

---

## 今後の主要日程

9月3日(土)

会員増強事業委員会

9月9日(金)

文献・組織検討委員会

9月10日(土)～11日(月)

ユースボランティア・リーダーズフォーラム  
(於：東京YMCA山中湖センター)

9月17日(土)

北東部 部会

盛岡クラブ10周年記念例会(於：盛岡)

9月25日(日)

富士山部 部会 (於：樟泉閣)

9月30日(金)

LT委員会

10月1日(土)

湘南・沖縄部 部会 (於：三浦ふれあいの村)



## YMCA より

連絡主事 光永尚生



9月には、記念例会や部会の予定が多く組まれているかと思います。ぜひ、各ローカル YMCA のスタッフとの交わりの機会として用いていただければ幸いです。

とはいえ、各 YMCA では、夏のサマースクールやキャンプを終え、一息つく間もなく秋の募集やプログラムの開始などとなります。ワイズメンズクラブのご予定と各ローカル YMCA の行事などの整合性を持ちつつ、「協働」できる部分を増やしていただき、スタッフへのお言葉かけ、協力の打診など頂くと、スタッフも大いに力づけられるものと思います。

現在、オールジャパン YMCA の取り組みとして、中期計画推進と並行して進められているブランディングの説明会も東日本、中日本、西日本の各地区ごとに開催されてきました。THE YMCA ニュースでは、その取り組みに関して第1期目の振り返りや評価、内容に関しての記載がありますので、9月号をぜひともご覧下されば幸いです。また、秋には全国のチャリティランの開催が続きます。全国 20 を超える YMCA が様々な形で地域と共に開催されていきますので、ワイズの皆様のご奉仕の場として用いていただきますようにご案内と参加へのお願いを申し上げます。最後になりましたが、YMCA 東山荘は9月3日～4日に「さよなら本館プロジェクト」となっておりますので、ご来荘ください。